



あすなろだより

2011年6月21日

発行 三重県立小児心療センター あすなろ学園 広報担当
〒514 0818 三重県津市城山1 12 3 TEL.059 234 8700 FAX. 059 234 9361
MAIL: asunaro@pref.mie.jp URL: http://www.pref.mie.lg.jp/ASUNARO/HP/

ごあいさつ

あすなろ学園長 西田 寿美

2011年3月11日に発生した東日本大地震は、併発した原発事故により21世紀の語り継がれる大震災となり、いまだ収束しておりません。

地震国日本は、戦後だけでマグニチュード7以上の大型地震を7つ経験したことになりました。1946年12月21日の南海地震、1948年6月28日の福井地震、1983年5月26日の日本海中部地震、1993年7月12日の北海道南西沖地震、1995年1月17日の阪神・淡路大震災、2008年6月14日の岩手・宮城内陸地震、そして東日本大震災です。

私の記憶に残るのは1983年ごろからですが、その後の地震災害は回を重ねるごとに激しいものになってきております。

私が県の東南海地震対策に対してなるほどと納得したのは、手元にあった昭文社の『なるほど知図帳2009 日本』でした。その大地震の調査・研究編には、地震調査研究推進本部資料に基づいた、今後30年以内に地震が発生する確率が日本地図に記されておりました。関東から三陸沖の東日本地域は70～99%の確率で、東海から南海は50～87%でした。2年前に読んだ時は何十年か先のこととして意識しただけでした。しかし、宮城県沖の99%は2年後に発生し、しかも連動型として未曾有の広範囲に被害をもたらされました。地球規模の時間を体験し、三重県職員の一員として南海地震87%への備えを再考することになりました。

穏やかな三重の自然に常は癒されている私たちですが、その驚異的な破壊力に立ち向かうには無力な存在でしょう。しかし、一人ひとりが手を取り合い、集団として結束し、営々と復旧していく底力が人間にはあります。

今回、さまざまな支援が現地に提供されています。私たちはそれを教訓として、次に予測されている東・南海大地震に備えましょう。

本年7月28日開催予定の「あすなろシンポジウム」は、災害支援をテーマに取り上げ、災害からの立ち直りを阻害するPTSDに焦点をあてました。PTSDをなるべく少なくする人間関係を作ることは、地域の子育て支援にも役立ちます。

子どもと家族が元気であれば地域は必ず立ち直れ、地域が元気になれば家族と子どもは安心を取り戻します。「備えあれば憂い無し」です。

あすなろ学園のいしゅさん紹介

「あすなろ学園のお医者さんにはどんな人がいるの?」「名前は聞いたことがあるんだけど・・・」「顔はみたことあるけれど名前が・・・」などの声が寄せられています。そんな声にお応えして、今回は医師紹介をしてみたいと思います。顔と名前だけでなくちょっとした質問にも答えてもらいました。

ここでクイズです!! 顔写真と質問への答えがバラバラになっています。皆さんの想像力をフルに働かせて、誰がどんな答えをしたのかあててみてください。(番号とひらがなを線で結んでみてください)

- 質問 ① 好きなことは? ② 得意なことは? ③ 休みの日は何をしています?
④ 自分を動物にたとえると? ⑤ その理由は?

- ① 旅行・・・温泉めぐり スポーツ観戦・・・時々野球やラグビーの試合を見に行きます
② 以前は足が早かったのですが... 今は体がついていきません。でも逃げ足はまだ速いかもしれません
③ 本を読んだり、子どもの遊び相手をして息抜きしています
④ ネコ ⑤ マイペースに生きているところ

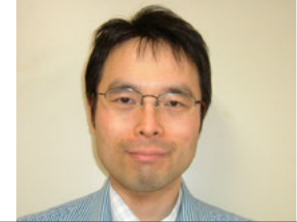
あ



西田寿美 (にしだひさみ)

- ① 大きな木をみること
② 料理ですが最近は作ることが少なくなりました
③ 自然の中を歩いています
④ たとえるのが難しい、好きな動物はかもめ
⑤ 飛ぶ姿がかっこいいことと「かもめのジョナサン」にあこがれがあったこと

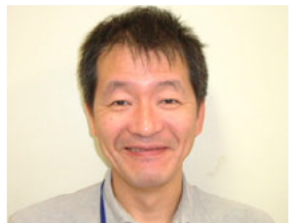
い



中島弘道 (なかしまひろみち)

- ① お酒をのむことです
② ひとつのはなしにちゃちゃを入れることでしょうか
③ ごろごろしているか、ドライブをしています
④ ウシ
⑤ すぐに「もー」というから

う



大槻一行 (おおつきかずゆき)

- ① 旅行
② おいしいもの、おいしいお店を探すこと
③ スポーツ観戦 寝ている
④ アルパカ
⑤ 一見癒し系にみえて、実は...

え



早田聡宏 (はやたとしひろ)

- ① 食べること スポーツ観戦
- ② これとってないような...
- ③ スポーツジムに行くか、近くの温泉へ行く
- ④ ウサギ
- ⑤ 「ニシン（2診）」の人なので...

5

お

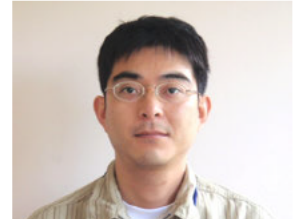


中西大介（なかにしだいすけ）

- ① 日帰り小旅行 音楽関係 読書
- ② 音楽関係
- ③ 命の洗濯
- ④ タツノオトシゴ
- ⑤ フワフワしているところ

6

か



持田圭仁（もちだよしひと）

- ① ドライブ 絵をみること
いい景色をみること まんがを読むこと
- ② 卓球 整理整頓
- ③ 子どもと公園で遊ぶ おでかけ
- ④ なまけもの
- ⑤ なまけているわけではないが行動はおそいから

7

き

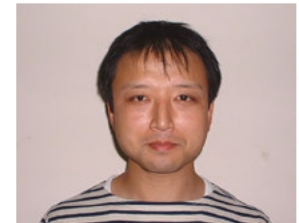


小林三希子（こばやしみきこ）

- ① 耳掃除をしている時間が至福の時間
古いもの アナログなもの
- ② 人の話をきくこと
- ③ 映画（邦画）を見に行く スポーツ観戦
- ④ みなさんのご想像におまかせします

8

く



大橋 浩（おおはしひろし）

- ① 水族館が好きで、特においしそうなの海の魚介類を見ること
- ② 泳ぐこと
- ③ 出かけたり、釣りや潮干狩りの下調べをしたり、本を読んだり
- ④ イヌ
- ⑤ 人が食べているのをおいしそうにみていたりするので

9

け



石田芳久（いしだよしひさ）

- ① 本をよむこと
- ② できるだけ簡単な料理をつくること
- ③ なにかとセカセカしています
- ④ ニワトリ
- ⑤ 見たい映画や行きたいお店のことをすぐにわすれるから

10

こ



中野千鶴子（なかのちづこ）

三重県立小児心療センターあすなろ学園

講演会・シンポジウムのお知らせ

テーマ：これからの地域子育て支援を考える

災害時の地域家族支援 ～子どものこころのケアを中心に

日時：平成23年7月28日（木） 開場 9:30 開演 10:00

場所：三重県総合文化センター 文化会館 中ホール

プログラム

第1部 講演会（10:00～11:30）

演題：「東南海大地震が襲うとき～三重県民はどう対処するか」

講師：清水将之（三重県立看護大学理事・三重県健康福祉部特別顧問）

司会：中島弘道（あすなろ学園医長）

第2部 シンポジウム（13:00～16:00）

テーマ：「災害時の地域家族支援 ～子どものこころのケアを中心に」

基調講演：「子どものPTSD」

講師：田中 究（神戸大学医学部附属病院精神科准教授）

シンポジスト：菅沼昭友（三重県児童相談センター家庭児童支援室）

【50音順】 中西大介（三重県立小児心療センターあすなろ学園）

指定討論：田中 究（前出）

司会：西田寿美（あすなろ学園園長）



定員：900人 参加費：無料

申込み：下記FAX番号へ「ご所属・職種・参加人数等」明記の上、FAXにて7月21日迄にお申し込みください（定員は比較的余裕があります）

問い合わせ先：〒514-0818 津市城山1丁目12番3号

三重県立小児心療センター あすなろ学園 医療連携室

電話：059-234-8700（内線332）

FAX：059-234-9361（FAX専用）

外来診療のご案内

（平成23年6月1日現在）

*診察は完全予約制です。

都合により変更になる場合もあります。

●予約電話番号 **059-234-9700**

（予約電話受付時間 9:00～12:00
（月～金） 13:00～16:30）

曜日	月	火	水	木	金
1診	中島	西田	大槻	小林*	西田*
2診	持田	中西	石田	中西*	大槻
4診	小林*	中島*	中野	持田	中野
5診		早田		大橋	早田

※再診のみ